

令和6年度第1回あきる野市健康づくり推進協議会 報告（概要）

日 時 令和6年7月18日（木）
午後7時00分～
会 場 市役所5階503・504会議室
及びweb

1 開 会

○事務局説明事項

- ・推進協議会設置要綱第9条第3項の規定により本協議会が成立していることを報告
- ・人事異動等に伴い、新たに委員になられた方3名の紹介

2 挨 拶

○会長より挨拶

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大から数年が経過し、コロナ以前の状態に戻りつつある。現在もコロナの影響が全くないというわけではないが、私達の活動を再び活性化させ、地域の健康づくりに貢献する時がやってきた。共に手を携え、より健康で活力ある地域社会の実現を目指していきたい。

3 報 告

○あきる野市健康づくり推進協議会設置要綱第9条第2項の規定により、会長による議事の進行

（1）令和5年度の事業について（事務局説明） 資料1

ア 令和5年度あきる野市健康づくり市民推進委員会活動報告 資料2－1

イ めざせ健康あきる野21推進会議（21StepⅡ）令和5年度の活動 資料2－2

以下のとおりご質問をいただいた。

質問：資料1、4ページの10、自殺対策推進事業について、昨年度と今年度のあきる野市の自殺者数を教えてほしい。

回答：（健康づくり係）自殺統計で、令和4年度が19人、令和5年度が12人となっている。

質問：資料1、7ページの10、新型コロナワクチン接種について、症状が重い人は費用負担が軽くて、症状が軽い人は費用負担が重いと聞いたが、あきる野市の場合はどうか。

回答：(予防推進係) ワクチン接種で、症状によって費用負担割合が違うということはない。コロナにかかった人の医療費の話はこれとは別の話になる。

質問：資料1、8ページの1、妊娠届受理件数の中の2番の育児パッケージの配布はいつどこでやっているのか。

回答：(母子保健係) 育児パッケージの配布については、妊娠届を受理した際に同時に妊婦面談を行った方に、その場で配布している。

質問：健康づくり市民推進委員会活動報告の地区活動で、人が多く集まる活動はまだできないのか。そろそろ活動したいと考えているが、現在実施していないのか。

回答：(健康づくり係) 人が多く集まる活動の申請はまだないが、コロナも5類に移行したので、制限はしていない。気をつけて実施するよう注意喚起のみ行っている。

(2) あきる野市特定健康診査等実施計画(第4期)について(事務局説明) 別冊

以下のとおりご質問をいただいた。

質問：19ページの達成しようとする目標が、令和6年度から令和11年度までの数値がかなり上がっているが、この目標を達成する仕組み及び周知方法等を教えてほしい。

回答：(健康づくり係) 特定健診の受診率向上に向け、未受診者対策として毎年受診勧奨はがき等で案内をしている。1回目は、全年代の方に対してはがきを送付。その後、受診率が低い傾向のある40歳代、50歳代の比較的若い世代の方に、再度受診勧奨を実施。昨年度から、はがきにアンケートという形で電子申請システムを活用したアンケートを実施し、受診しない理由や、どういう体制なら受診してみたいか等の意見を伺った。受診しない理由として、かかりつけに定期的に通院しているという回答が最も多い。別冊の16ページから17ページにアンケート結果を載せているが、勧奨はがき送付者約2万人近くのうち、回答者数が182人であるため、全員の意見ではないということを含め、今年度ははがきの内容も工夫する予定。勧奨はがきを見て受診したということが分かるような方法はないかと検討している。

(3) 令和6年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について(事務局説明) 資料3

以下のとおりご質問をいただいた。

質問：ハイリスクアプローチについて、どんな方がハイリスク該当するのか教えて欲しい。

回答：(健康づくり係) 体重が重い方、血糖の値が高い方、過去1年以内に転倒の実績がある方を対象予定として、現在検討している。

質問：ハイリスクに該当する方に対し、市広報紙等に載せて地域イキイキ元気づくり事業等に参加を促すのか、どういう形で取り組んでいるのか。

回答：(健康づくり係) ポピュレーションアプローチについては、地域イキイキ元気づくり事業をこれに当てはめ、実施している。今年度は、各地域に管理栄養士、歯科衛生士が1回ずつ訪問し、健康教育・相談を実施。ハイリスクアプローチについては、該当する方に個別に周知するため、広く周知する予定はありません。

質問：ハイリスクアプローチの対象者は、健康リスクの高い人と書いてあるが、具体的に何のリスクが高い人を対象する予定なのか教えて欲しい。

回答：(健康づくり係) 全国的な傾向では、後期高齢者の低栄養、フレイル予防、糖尿病性腎症を予防すること、健診を受診したことがなく、レセプト等で医療機関の受診も確認できない健康状態不明者の状況を確認するという事業が、ハイリスクアプローチとして位置づけられている。ハイリスクアプローチの事業内容は各市の状況に合わせて実施することになっているため、今年度あきる野市の事業内容は、BMI、腹囲、HbA1cの値から抽出し、その中から「1年間に転倒したことがある」という問に「はい」と回答された方を抽出し、勧奨する予定。

(4) あきる野市自殺対策推進計画(第二次)策定について(事務局説明)

資料4-1、4-2、4-3

以下のとおりご質問いただいた。

質問：資料4-1の1、(2)(3)(5)に下線が引いてある。下線部分が重点的に取り組む施策かと推察したが、そのようなことなのか。その候補であれば、理由を教えて欲しい。

回答：(健康づくり係) 下線のある3項目については、年に1回公表されている自殺プロフィール(全国、東京都、それぞれの自治体の傾向がまとめられた資料)の中で、あきる野市の自殺者が多い傾向のある項目を示している。自殺対策推進協議会の中でも、60歳以上の男性の自殺者数が多い傾向にあるため、高齢者対策が必要ではないかという意見が出ている。子どもは、実数としては少ない傾向にあるが、対策はするべきではないかという意見もあるため、これから検討していく予定。

4 議 題

(1) めざせ健康あきる野21推進会議(StepⅡ)の推進について(事務局説明) 資料5

以下のとおりご質問・ご意見をいただいた。

質問：資料5の右上の図について、推進部会と評価部会と書いてあるが、評価部会の活動報告

は、この場で聞くことは可能か。

回答：(健康づくり係) この計画策定の際に、健康づくり推進協議会が評価部会を兼ねるということで、策定・評価に関わっていただいたという経過がある。現在のところ評価部会は、お示ししたが、活動は行っていない。

意見：東京都立病院機構では、東京ヘルスサポーターという名前で医師による講演会等に参加いただいた方に、地域に戻って健康について広めていただくという主旨の活動は行っているが、メンバーを増やすというところは大きな課題となった。ボランティア活動のようなことを行い、医療に繋がっていない方々を病院につなげていくという活動を行っているという話は伺ったことがある。

意見：大変有名な事例だが、兵庫県養父市で行われているフレイル予防の活動で、行政と住民が共同で活動している成功例がある。この事例の実際の資料は、調べてご覧になってほしい。PDCAサイクルがしっかりできているところがポイントになっている。加えてその地域の中の地区ごとの取り組みを町全体のフレイル予防として浸透させていくために、シルバー人材センターを利用していくという形で展開し、住民に身近なところで健康づくり活動が行われている。そしてこの結果を、栄養面、体力面、社会面というところを東京都の健康長寿医療センターが大きくバックアップし、評価も確実にを行っている。評価結果も非常に良好であると科学的に記されている。ポイント、課題を絞って、それに向けて取り組んでいるところが非常に良い活動だと思い、紹介した。

意見：市内を歩いてお店に寄るたびに、ポイントがつけられ、ポイントをためて何らかの形で還元する市民の健康づくり、ウォーキングによる健康づくり、市の商店とのいろんな共同での健康づくりを横浜でやっている。最近では、西多摩地域でもそれに近いことを始めている自治体があると聞いている。

(2) 第27回あきる野市健康のつどいについて(事務局説明) 資料6

あきる野市健康づくり市民推進委員会副会長から挨拶があった。

以下のとおりご質問・ご意見をいただいた。

質問：周知とPRについて質問したい。毎年素晴らしい内容で、多くの人に参加いただきたいと思いますが、例年、来場者数はどれくらいか教えてほしい。

回答：(健康づくり係) 多くのコーナーがあるため、実の来場者数の把握は難しいが、延べ来場者数は1,530人である。

質問：青年会議所にも協力団体として声をかけたいが、声をかけても良いか。

回答：青年会議所が参加していただけるかはわからないが、委員から繋いでいただけるので

あれば、声をかけていただいて差し支えありません。

意見：委員から、健康のつどいの協力団体として登録したいという旨のご意見をいただいた。

意見：コロナ禍を経て、これからどんどん盛り上げていければよいと思う。企業的な発想で恐縮だが、例えば、どれだけ予算があるのかわからないが、単純に集客することを考えれば、芸能人を呼ぶとか。講演を行うなど、ついでに足を運んでくれるという真のニーズと合わせていくという考え方もあるのではないかと思う。

回答：(健康づくり係) 講演会は、今年度の健康のつどいでは予定をしていますが、新たな団体に協力いただけないかと現在調整中である。

5 その他

○各委員からこの場を通して伝えたいことを共有していただいた。

意見：委員から、あきる野市における歯科健診事業の変遷と現状についてご報告いただいた。

6 閉 会

○次回の会議は2月頃を予定している。日程が決まり次第、事務局より各委員へ通知する。

○副会長より閉会の挨拶

以上